3 月 18 日~3 月 21 日の日本化学会第 104 春季年会(2024) <u>(日本大学理工学部 船橋キャンパス)</u>で以下の講演・発表を予定しています。

【基調講演・依頼講演】

2024年3月18日(月)9:00 ~ 11:40A1432(14号館 [3階]1432)

インフォマティクス基礎:今日から始めるデータ駆動型化学合成

▶10:20 ~ 10:50 依頼講演

デジタル駆動化学合成の実践と応用[A1432-1am-02]

○矢田 陽(国立研究開発法人産業技術総合研究所)

【受賞講演・特別講演】

2024年3月21日(木) 9:00 ~ 11:10B1326(13号館 [2階] 1326)

▶10:10 ~ 10:40 若い世代の特別講演

多機能固体触媒による精密水素化・脱水素反応の開発[B1326-4am-03]

○金 雄傑(東京大学)

【基調講演・依頼講演】

2024年3月21日(木) 13:00 ~ 15:40(A1433(14 号館 [3 階] 1433)

持続可能社会を創出する高分子科学の研究前線

▶13:00 ~ 14:00 基調講演

樹脂分解触媒反応の開発とケミカルリサイクルへの展開[A1433-4pm-01]

○野崎 京子(東京大学)

▶14:00 ~ 14:30 依頼講演

スーパーエンジニアリングプラスチックのケミカルリサイクルを拓く解重合法の開発[A1433-4pm-02]

○南 安規 1.2 (1. 国立研究開発法人 産業技術総合研究所、2. 筑波大学連携大学院)

【口頭発表】

2024年3月18日(月) 13:00 ~ 15:40E1111(11号館 [1階] 1111)

10. 有機化学一有機金属化合物

▶13:20 ~ 13:40

Nickel-Catalyzed C(sp³) – O Hydrogenolysis via a Remote Concerted Oxidative Addition and its Application to Degradation of a Bisphenol A-Based Epoxy Resin[E1111-1pm-02]

OYumeng Liao¹, Kohei Takahashi¹, Kyoko Nozaki¹ (1. The University of Tokyo)

2024年3月18日(月)13:00 ~ 15:40D342(3号館 [4階] 342)

18. 高分子

▶ $14:50 \sim 15:00$

Polyethylenes bearing in-chain amide groups via Beckmann rearrangement: Synthesis and their physical properties [D342-1pm-11]

○Yipu Lu¹, Kohei Takahashi¹, Jian Zhou², Shintaro Nakagawa², Naoko Yoshie², Kyoko Nozaki¹ (1. Grad. Sch. of Eng., The Univ. of Tokyo, 2. Inst. of Industrial Sci., The Univ. of Tokyo)

2024年3月19日(火) 13:00 ~ 15:40E1112(11号館 [1階] 1112)

10. 有機化学一有機金属化合物

►15:20 ~ 15:30

イリジウム触媒によるウレタンのホルムアミドとアルコールへの化学選択的水素化分解[E1112-2pm-13]

○山田 悠斗¹、岩﨑 孝紀¹、野崎 京子¹(1. 東京大学)

2024年3月19日(火) 15:55 ~ 17:15D341(3号館 [4階] 341)

18. 高分子

►16:55 ~ 17:15

Mild Catalytic Degradation of Crystalline Polyethylenes in Solid State Assisted by Carboxylic Acid Groups [D341-

2vn-04]

○Bin Lu¹, Kohei Takahashi¹, Jian Zhou², Shintaro Nakagawa², Naoko Yoshie², Kyoko Nozaki¹ (1. Grad. Sch. of Eng., The Univ. of Tokyo, 2. Inst. of Industrial Sci., The Univ. of Tokyo)

【ポスター発表】

2024年3月19日(火) 10:00 ~ 11:30ポスター会場2(理工スポーツホール [1階] アリーナ)

22. 資源利用化学・環境・グリーンケミストリー

▶10:00 ~ 11:30

水熱条件下でのポリ塩化ビニルの脱クロロ化反応における,可塑剤,添加剤,安定化剤の影響[P2-2am-20]

○細川 さとみ¹、Douglas Hungwe¹、杉山 賢次¹、山﨑 友紀¹(1. 法政大学)

2024年3月20日(水)ポスター会場2(理工スポーツホール [1階] アリーナ)

18. 高分子

15:45 ~ 17:15

Non-catalytic Hydrothermal Dechlorination Kinetics of Polyvinyl chloride [P2-3vn-34]

ODouglas Hungwe¹, Satomi Hosokawa¹, Yuki Yamasaki¹ (1. Hosei University)